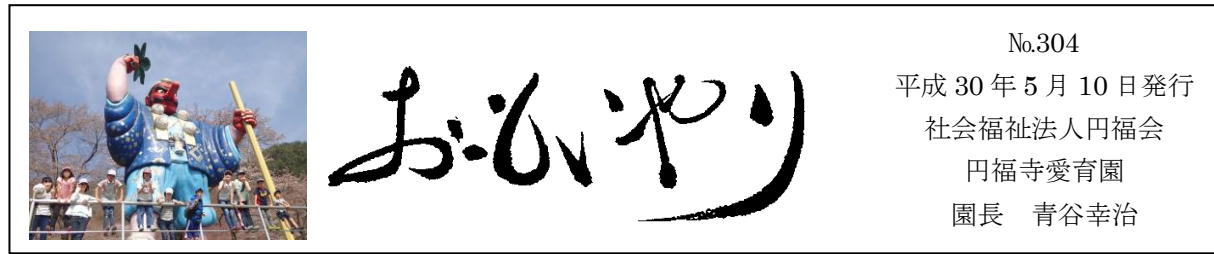


晴天の中、みんなでキティーパークにお花見に行ってきました。



新年度

理事長 藤本光世

新年度が始まりました。

毎年、四月は新鮮です。子どもたちは新しい学校や学年となり、みんな張り切っているように見えます。そして、今年は職員が増えて、新しい職員が初々しく働いています。新任職員それぞれが早く愛育園の子育てに心を一つにして、しっかりとした仕事ができる職員に成長してくれることを願っています。

これだけ大勢の新任職員が入ってくれたことは、平成 21 年度に続いて 2 度目だと思います。あの頃の愛育園は大きな混乱状態にありました。子どもは荒れていました。職員のまとまりもありませんでしたし、愛育園の養育方針も確立していませんでした。だから、それぞれの職員が、自分の思う方法で子育てをして、その結果良い子育てはできませんでした。

今は違います。しっかりした養育方針の下で子どもたちは育っています。子どもたちは落ち着いています。それぞれが自分の夢の実現のために毎日を送っています。このようになったのは、園長を中心とした職員が力の一つにした大きな努力があったからです。その方針の中に職員は自分を投げ入れてほしいと思います。

只管打坐のお話をしましょう。もう何年も昔のお話です。団体参拝で永平寺に宿泊しました。永平寺の魅力は朝にあります。早起きして朝課に出ること。すると法堂に響く雲水の読経に魅せられます。見学では決して味わえません。永平寺の魅力は、伽藍の佇まいや景色にあるのではなくて、そこで修行している雲水にあります。だから、私は永平寺の宿泊を勧めます。

永平寺に宿泊すると、朝課の随喜だけではなくて、参禅や法話があります。永平寺のビデオで山内の紹介もあります。参禅は宿泊する吉祥閣の大講堂で行います。大勢の参拝者が静寂の中に坐っていると、指導者の大きな声が響きました。『坐禅をするとなにかご利益があると思っている人がいるかと思うが、それはない。』『坐禅をしても何にもならない。』私はとても気持ちよくこの言葉を聞きました。

私が思うに、この言葉の意味は二つあります。

1. 坐禅は、何事にもまして尊いのです。もし、何かのために坐禅をするならば、何かが至上で坐禅はそれ以下になってしまう。坐禅することが至上の尊さなのです。

2. 見返りを求めないこと。さもし根性を捨てることです。

愛育園の仕事はとっても尊い仕事です。只管打坐のように、自分を無にして、見返りを求めずに、愛育園の仕事に打ち込んでほしいと思います。そして、この尊い仕事を長く続けてほしいと願っています。

はきものをそろえる

園長 青谷幸治

「はきものをそろえる」という言葉は、円福寺愛育園創設者である藤本幸邦先生が残された言葉です。愛育園の養育の基礎として心の教育を語る上で大切にしています。

毎朝、子どもたちと般若心経のお経をあげ、外では「はきもの」の石碑の前に「はきものをそろえると心もそろえ」を全員で唱えます。

はきものをそろえると何か変わるのか？そんな疑問を抱いていた若い頃がありました。心を育てるためにはまず、はきものをそろえることから。今まで自分の靴すらもそろえられなかった。しかし意識して続けていった結果、今では自分の靴は当然そろえ、履かない時は下駄箱に収納する。そして他人の靴が脱ぎっ放しになっていけば、そろえる。自分自身が余裕を持ち、回りを見る力が養われ人のことまで考えられるようになった気がします。

子どもたちはどうでしょう。やはり先生方から言われるから自分の靴をそろえる。下駄箱に収納する。言われなければ、脱ぎっ放しになってしまう。そんな状況が続いていました。しかし、先日、児童と職員全員が体育館で卒園式の準備をしていたとき、管理棟の玄関に子どもたちは、靴やサンダルなど脱いで 2 階にあがっていました。その様子を見たときに確実に子どもたちは言われてやるの



<http://enpukui-aiikuen.com/> ホームページでもご覧ください。

ではなく、自分たち自らはきものをそろえ、それも自然にできていることに感心しました。これも先生方が何年もかけて言い続けてきた結果でもあり、この愛育園という生活環境の中で心を落ち着かせ、何事にも先生の話の聞いて冷静に対応できていることが実感できます。規律正しい生活の中で、心を穏やかに落ち着いて回りをよくみて動ける習慣が身につけていることは、「はきものをそろえる」の毎日の実践からくるものであり、それが将来に向けての目標や何でも頑張れる心を育てているように思います。

おかげさまで、はきものをそろえることで朝のお参りには全員が参加し（寝坊がない）、朝食は残さず食べ、不登校がない、ほぼ皆勤。学力向上で自信を持って夢を語れる子が増えました。積極的に何でもやってみようと思う児童も増えました。

「はきものをそろえる」とは、たんにはきものをそろえるという機械的なことではなく、心が落ち着き、整っていないとできないことを思い知らされました。心を整えながら、自分の足元をしっかりと見つめ、嘘なく、正直に人のせいにせずに逃げない。そんな生き方ができる人間を児童とともに職員も目指していこうと思います。もう大丈夫という言葉はありません。油断せず、幸邦先生が教えてくれた言葉はこれからも全ての児童、職員が肝に銘じていかなければいけないと思いました。

平成 30 年度 まごころ・そよかぜホーム長方針

主任保育士 石崎 早織

今年度 3 名の職員を迎えてまごころ・そよかぜホームがスタートします。ホーム職員が増えれば手厚く子ども達と関われる時間は増えますが、人数が増えた分、今まで以上に職員の連携が大切になってくると思います。そこも含め今年度の目標をいくつか挙げていきたいと思っています。

- 1、職員同士のコミュニケーションをしっかりとる。
⇒日々の何気ない会話を大切にす。
- 2、自己判断せず「報連相」をしっかりと行う。
⇒何を報告したらいいのか、何を相談したらいいのか迷ったら、全て報告する。
- 3、二重、三重指導の徹底。
⇒子どもを指導するとき、事実確認する人、指導を入れる人、指導を入れた後に再度どんな事を注意されたのかを確認する人など役割分担を作っていく。
- 4、ホームの引き継ぎノートをしっかりと活用していく。
⇒何を引き継ぎに出したらいいのか迷ったら全て出す。
- 5、職員が子どものお手本になっていることを忘れず、常に笑顔で過ごす。
⇒子どもは先生方をよく見えています。先生方が笑顔で過ごせば子どもの笑顔も増え、生活も

(平成 30 年 5 月 10 日発行 月刊「円福」502 号付録 昭和 52 年 5 月 25 日第三種郵便物認可)

安定していきます。

- 6、子どもたちと関わる上で注意だけではなく、できていることもしっかりと認めてあげる。
⇒注意や指導ばかり増えると、子どもの気持ちもマイナス思考になってしまうため、何か一つでもできていることを褒めるように意識する。
- 7、中高生と関わる時間を今まで以上に増やす。
⇒職員と関わりたいと思っている子どもが多いです。夜の時間を使って中高生とコミュニケーションをしっかりとる。
- 8、個々の進路や方向性を早めに決めてあげる。
⇒特に中高生は自分の将来について不安も抱いている子どもが多いです。将来の夢が決まらなくても方向性を早めに決めてあげ、安心して自分のために生活出来るようにする。
- 9、整理整頓を徹底する。
⇒子ども達の居室もそうですが、保育室も同様に整理整頓をしっかりと行い、生活環境を整える。

以上 9 個の目標を挙げました。できるか、できないかを考えるよりもまず「やってみる」という事を全員が意識して、業務にあたれたらと思います。今年度もよろしく申し上げます。

あおぞらホーム長方針

あおぞらホーム長 富沢正樹

今年度、あおぞらホーム長を務めさせて頂く事になりました。一年間、よろしく申し上げます。昨年度は、色々と考えさせられる事がありました。色んな事があって、本当にたくさん考えました。

何が苦しかったか？問題行動が多かったからか？職員の数が少なくて勤務が大変だったからか？そんなことを考えていた時もありましたが、どうやらそうでは無さそうです。

最も苦しく感じたのは、愛育園の子ども達が、園への愛着が薄れてきている事を感じる場面が多かったからだと思います。

反省が深まらない事、簡単に人を裏切れてしまう事、職員への敵意を向ける。など、「えっ、本来そうじゃないよねえ」と言いたくなって、ムキになってしまう事も多々ありました。しかし、それが子どもなのだ。という事に気付きました。

この 5、6 年で、園の子ども達は劇的に良くなりました。毎年どんどん良くなっていく子ども達。もっともっと良くなれる。と関わりに力を入れていたはずなのに、力を抜いたわけではないけれど、良くなる事がいつしか当たり前と錯覚したり、力を引き上げる事に必死になり過ぎて、、、「これくらい、分かるでしょ？」「なんで、わからないの？」「それ、反省中にやる事？」なんて想いに駆られて関わっている内に、気付けば、子ども達の園への愛着は随分薄くなってしまっていたと思います。

<http://enpukui-aiikuen.com/> ホームページでもご覧ください。

問題行動や、反社会的な事に関しては、「起こさせてはいけない。許してはいけない。」「しっかり反省もさせなきゃいけない。」だからこそ、毅然とした言葉がけも必要です。ですが、それが響くかどうかは、子ども達がどれだけ園に対する愛着を持っているかに懸かっています。

また、園にいる事で、ご飯が食べれて、着る、寝る。が保証され、学校にも通えて、習い事もできる。将来の道も拓ける。こんな幸せな所はない。私達大人はそれを知っています。でも、子ども達には中々分かりません。(もちろん、以前に比べれば、感謝の度合いは比較になりませんが。)

でも、そういうものも全てひっくるめて、子どもと向き合っていく姿勢が必要なのだと思います。敵対するのでもなく、迎合するのでもなく、「園にいられて良かったあ」と思える子ども達にしていく事が大切だと思います。これを複数の職員でやっていくから余計に難しいし、「子ども達」と言っても、年代も違うし、一人一人の成長の度合いや理解力も違う訳で、本当に大変な事です。でも、だからこそ「やりがいがある。」と私は思っています。

子ども達が自立の力をつけて、社会に出ていく場所である為には、この愛育園が子ども達にとって大好きな場所になる事が大事なのです。それを、今年度のあおぞらホームの方針と思って力を合せて頑張っていきたいと思います。

調理方針

調理主任 伊藤 慈子

新年度がスタートして、1ヶ月が経ちました。今年度も引き続き、調理主任を務めさせて頂きます、よろしく願い致します。早いもので、もう4年目になります。

今年度の調理は、6名でスタートしました。昨年中に勤務体制を、調理作業を効率良くするため改善し、早番2人遅番2人を基本にし、行事やメニューによって多く必要な時は、人員を増やすという体制にし、仕事の偏りなく働いていけるようになりました。

そして昨年中に【スチームコンベクション】を購入して頂き、少しずつですが新しいメニューが増えました。今年度も、このオーブンの特性を上手く利用し、もっともっと子ども達が喜ぶ美味しいメニューを増やしていくのはもちろんのこと、子ども達と一緒に作れるメニューを提案し、調理実習を増やしていきたいと思っています。そのためにも、私達調理はコミュニケーションをよくとり、『報連相』を心掛け、お互いを思いやり、協力しみんなが気持ちよく仕事出来るように努力していきたいと思っています。また今年度は、誕生日月の壁面作りで安心するのではなく、季節の壁面を作り足して明るく楽しい雰囲気作りに心がけ、食堂を清潔にし、子ども達に声をかけたり話したり、心和む食堂にしていきたいと思っています。今年度も調理6名で、子ども達のため、その子たちを育てていく職員のために、おいしいご飯を、手作りおやつを、心を込めて作っていききたいと思っています。1年間よろしく願い致します。

(平成30年5月10日発行 月刊「円福」502号付録 昭和52年5月25日第三種郵便物認可)

『高校に入学して』

まごころ保育士 竹内早季

長いようで短かった受験を乗り越え、晴れて高校生になったYさんは、緊張と不安を抱え入学式を迎えました。しかし、約1ヶ月が経つ現在、友人もでき、学習もついていこうと頑張っています。高校生活も少しずつ慣れてきてホッとした反面、生活の場面で少しずつ「高校生として」どういう行動をとるべきか考えなければならないことも出てきました。Yさんはバドミントン部に入りたいという思いがあります。自分から「これがやりたい」と話す姿が今までにあまり無い姿だったので、私も本気であれば応援したいと思っています。ただ、みんな部活を始めるにあたってまず生活をしっかりさせること、本来進学目標であるので成績も維持していくこと、3年間しっかり続けることなどそれぞれ気持ちを固めてから入部に向かっています。Yさんとも入部に向けて話し合いをしています。自分のやりたい事に向かって前向きに何でも一生懸命取り組んでほしいと思います。

高校に入学して

Y. O

私が高校生活で頑張りたいことは、部活と学習です。

私は高校で部活をやりたいとは全く思っていませんでした。しかし、バドミントン部の体験入部を通して自分も頑張りたいと思いました。そのため、自分からやりたいと言ったので3年間やり続け、少しでもいい結果が残せるよう日々の練習から全力でやっていきたいです。

次に学習です。私が学習面で頑張りたいことは普段の授業から真剣に取り組み、定期テストで上位を目指すことです。勉強が苦手だからこそ、授業を真剣に取り組むことが大切なことだと思っています。なので、私語がないようにしていきたいです。

この2つの目標を達成できるようにこれからの高校生活を送っていけるようにしたいです。

高校に入学して

高1(男子) M.H

私は、この春、屋代高校に入学しました。高校生になって頑張ろうと思っている事が2つあります。

1つ目は班活です。中学の時は、野球をやっていましたが、高校ではハンドボール班に入りました。初めてやるので、今のところ、不安しかありませんが、レギュラーをとれるように頑張りたいです。2つ目は、勉強です。中学の時に比べて、勉強の進むペースがとても速く、予習と復習をやっていくのが大変です。でも、私は大学に進学したいので頑張っていきたいと思っています。高校での3年間で頑張りたいと思っている事がもう1つありました。私は、中学3年生の時の自分を振り返ると、自分自身の心の弱い事が良く分かりました。

高校の3年間では、「何事にも本気」を目標に、心の弱さを克服し、班活と勉強を両立させたいと思っています。

「本気」。それが私の高校生活のテーマです。



中学に入学して

まごころホーム 保育士 加藤ゆかり

私の担当児童であるAさんが、4月5日に篠ノ井東中学校入学式を迎えました。この日は天気も良く、桜も満開で、入学にふさわしい日だったのではないかと思います。ついこの間まで小学生だったAさんが中学生だなんて、時の流れは早いものだと、しみじみ感じます。

環境がガラッと変わり、少々心配もしていましたが、Aさんは中学校での学習に興味を持ち、予習してみたり、部活動見学・体験に張り切って参加したり、新しいクラスメイトと関わったり、毎日充実しているようです。中学校は3年間と短いですが、心も身体も大きく成長する大切な3年間だと思います。学習にも部活動にも全力で取り組み、是非“文武両道”で頑張してほしいと思います。

Aさん 中学生の抱負

今月は入学式がありました。4月はみんな進級をするのですが、私たちは進級の中でも大切な「入学」をしました。中学校では小学校とは違い、制服を着るなど、規則が多くなりました。勉強も、算数では無く、数学だったり、英語があったりしますが、難しくても一生懸命頑張りたいです。

また、部活も始まります。私は、ソフトボール部に入部したいです。ソフトボールは、野球とは球もバットも違います。ソフトボール部に入部して、体力をつけていきたいです。

『中学校に入学して』

まごころ保育士 竹内早季

今年度、担当のAさんが中学校に入学しました。真新しい制服はまだ大きめですが、それを着たAさんはとても嬉しそうでした。小学校の時は「中学ってどんなところだろう？」となんとなくのイメージしかなかったので、勉強は難しいのかな、友達はできるのかなと不安な気持ちをこぼしたこともありましたが、それでも「勉強頑張りたい！」と期待も大きく中学に向けて意欲が日に日に高まっていくのを見守っていました。入学式当日、ドキドキしながらクラス発表を見て、仲の良い友人と同じクラスになったことでホッと、自分から「同じクラスだね、よろしくね。」と駆け寄っていく姿を見て、私も安心しました。入学式では緊張で肩に力が入っていましたが、背筋を伸ばしている姿に頼もしさも感じました。そして入学してから2週間ほど経ち、学校生活にも慣れてきたので、どんな勉強をしているのか、友人とどんな話をしたのかという話もしています。困ったことや難しいこともこの先出てくると思うので、様子を聞きながら充実した学校生活を送れるように応援していきたいと思っています。

中学に入学して

A. O

私は中学生になって頑張りたいことが2つあります。

1つ目は勉強です。中学生では、小学生のときより勉強が難しくなるので予習と復習をしっかりやっていきたいです。中学では、英語が始まるので、授業についていけるように、宿題だけではなく、予習と復習もしっかりやりたいと思います。数学が苦手なので得意になれるように頑張りたいです。2つ目は、行動を早くすることです。中学では、教科ごとに先生が替わるので、移動することが多くなるのでみんなについていけるように行動を早くできるように頑張りたいです。普段の生活の時も、行動が遅くなってしまうことがあるので早めに行動できるように頑張りたいです。

中学校に入学して

あおぞら 宮原徹

4月5日、H君の中学校の入学式がありました。大きく真新しい制服に少しはにかみながら堂々と新しい学び舎となる中学校の校舎に向かいました。入学式の後、感想を聞くと、「中学校は小学校と違うことが多くてびっくりしたが、言われたことをしっかりやって、中学校の生活に早く慣れていきたい」と新しい生活への期待と決意を語っていました。今は中学校での生

活も少し落ち着いてきて、中間テストに向けた勉強と5月からの部活動の本入部に向けて毎日ホームで自主練習などにも取り組んでいます。

3年間の抱負をH君と話をしたところ、高校は進学校に行きたいとのことで、「中学校の3年間では部活と勉強の文武両道に励みたい」と言っていました。また「生活態度もしっかり良く出来るようにし、あいさつや洗濯や部屋の整理整頓もしっかり取り組みたい」と少しずつ自立に向けた意識を高めています。H君の目標に向かって勉強や部活に全力で精一杯取り組めるよう、引き続き応援していきます。



中学校に入学して

あおぞら 近藤誠志郎

今年は中学校にあおぞらの男の子が二人、入学することになりました。そのうちの一人が、私が今年担当させていただくことになったO君です。普段は落ち着いているように見えるO君なのですが、4月5日の入学式当日はそわそわして落ち着かない様子がありました。どんな担任の先生か、誰とクラスになるか、いろいろな不安があったのだと思います。ただ、入学から3週間ほどたった今、すっかり中学校にも慣れてきたようで、毎日楽しそうに学校に通っています。毎日の課題も出るようになり、勉強もしっかり頑張っています。そして5月になるとO君も楽しみにしている部活動がいよいよスタートします。O君は以前からバスケットボール部に入りたいと話しており、部活動が始まるのを楽しみにしています。O君は勉強、部活動とこれからどんどんと忙しくなることと思いますし、いろいろな悩みが出てくると思います。いろいろなことをこの中学校生活で経験し、大きく成長してもらいたいです。



O君、中学校の抱負

ぼくは、中学生になって勉強と部活を頑張りたいです。特に部活は好きなバスケをやりたいです。バスケのどんな事を頑張るかと言うと、毎日欠かさず練習をしたり、毎日走って体力をいっぱいつ

けていきたいです。もちろん苦手な勉強も頑張りたいです。

BBQ行事

あおぞらホーム 近藤誠志郎

4月14日、今年度の初めの園内行事としてBBQ行事を開催しました。今回のBBQは今までとは違って、いろんなことに挑戦するといったBBQになりました。まず一つ目は、ピザ作りです。ピザ窯は、鉄の柵を段ボールとアルミホイルで周りを覆って作りました。ピザは、コーンやベーコン、ピーマンなど様々な具材を子供たちそれぞれの好きなように使って作りました。マッシュマロやバナナを使ったデザートピザも作りました。ピザもピザ窯も手作りで、上手くできるか心配とワクワクがありましたが、どのピザも上手に焼き上がり、みんなで美味しくいただくことができました。二つ目は、チーズケーキです。ダッチオーブンを使って生地から作ることにしましたが、生地を焼くのもBBQコンロを使ってやったのでしっかり焼きあがるまで時間がかかりました。しかし、時間がかかった分、仕上がりは抜群。ふわふわ、とろとろのチーズケーキに仕上がり、みんな大満足の一品となりました。そして三つ目は、ホットドッグです。アルミホイルで包んだホットドッグを牛乳パックに詰め、その牛乳パックごと火をつけて焼き上げるといったもので、焼き加減も完璧に仕上がり、美味しく出来上がりました。その他にも、今までのBBQ同様に肉や野菜を焼いて食べました。本当にたくさん食べ物をみんなで食べて、とてもお腹いっぱいになりました。どの料理も上手に作る事ができて、子どもたちも普段以上に達成感があったように見えました。前日までにピザ窯を作ったり、材料を切ったり、火の番をしたりと、高校生、中学生、小学生それぞれが自分のできることをしっかりとやって、いい一日になったことと思います。



まごころホームだより

まごころホーム 渡邊梓

平成30年度がスタートし、早くも1ヶ月が過ぎようとしています。今年度は小学生7名、中学生5名、高校生3名、まごころ職員7名の計22名でスタートしました。4月2日のまごころ顔合わせ会では、一人ひとりが今年度の目標を発表しました。昨年までは、「なんて言ったらいいの?」と恥ずかしくて発表することが出来ない子どももいましたが、今年度はしっかりと自分で目標を考え、堂々と発表する姿がありました。学年が上がっただけではなく、しっかりと心も成長してい



るな、と感じました。

また、今年は新中学1年生が2名、新高校1年生が1名、4月5日に入学式を迎えました。新しい制服に身をつつみ、新しい学校、新しい友人との出会いに期待を膨らませて、登校する姿がとても輝いていました。小学生もクラス替えや担任が変わった児童が多く、毎日、新しい友人ができた、今日は先生がこんな話しをしてくれた、と教えてくれ、学校生活がとても楽しいのだな、と

思い嬉しく感じます。

新中学生、新高校生は部活の見学や体験が行われ、自分の希望する部活の練習に参加しました。初めての部活動に慣れないながらも、楽しんで練習に参加しているようです。それぞれの学生生活が新しく始まり、たくさんの希望と夢があると思いますが、子ども達それぞれが決めた今年度の目標に向かって、1日1日を大切に過ごして行ってほしいです。

あおぞらホームだより

あおぞら保育士 佐々木 弘観

平成30年度がスタートしました。新年度を迎え、高校へ進学した子や中学校に入学した子、新しいクラスに変わり新しい担任の先生になり、みんな期待に胸を膨らませています。

例年よりも気温が高く晴れの日も続き、運動するには最高の天気が続いています。小学生達は、少年野球の大会に向けて猛特訓中。冬の間は体育館での練習でしたので思いっきり走り回れるグラウンドで野球ができることがとても嬉しそうです。新中学1年生は、部活動の体験がありました。〇〇部に入って頑張りたい！と早く部活に入りたくてウズウズしています。受験生達は受験に向けて少しずつ意識をし始めています。夜の学習に力を入れる子が増えてきました。

高校生はそれぞれ目標に向かって頑張っています。新高校1年生の子はハンドボール部に入部しました。今までハンドボールの経験はありませんが、他の部員より先に準備をしたり、誰よりも声を出したり、今自分にできることを精一杯やってきました。高校2年以上の子達は、それぞれの

進学や就職といった目標に向かって日々の生活を頑張ってやっています。

あおぞらホームの子ども達それぞれの目標を達成できるよう背中を押していきたいと思います。

調理室だより

栄養士兼調理員 原 未華

春になり、気温も上がり、とても良い天気が続いています。朝方は少し肌寒いですが、日中になれば暑いと感じる日が多かった気がします。

今月は、4月8日に入学・進級お祝いメニューをさせていただきました。メニューはお赤飯、鶏ささみのレモン煮、なばなのおひたし、コーンバター、杏仁豆腐です。子どもたち全員の入学・進級を祝い、一人一人さらなる活躍を楽しみにしています。

4月14日には昼食会でBBQをしました。準備と作る方は、子どもたちとホームの先生方でいただきました。BBQと自分たちで手作りピザを何種類も作り、中高生と先生方で作った釜で焼いていました。また、ダッチオーブンを使用したふわふわできれいなチーズケーキが出来あがっていました。子どもたちも大満足な昼食会だったと思います。

来月も行事はたくさんあります。調理の方でもできることはあると思うので、さまざまところで協力させていただきたいと思っています。いつも一生懸命頑張っている子どもたちの姿を見て、自分自身ももっと頑張っていけないと感じます。共に成長しながら全力で応援したいです。この時期、最も注意が必要なのは、食中毒です。毎日の食事にしろ、高校生のお弁当でも、いつも以上に調理全員で気にかけていき、衛生管理を徹底していきたいと思っています。

